



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社中央製作所

上場取引所 名

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 篠田 政明

TEL 052-821-6155

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,978	—	△51	—	△37	—	△39	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△5.05	—
25年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成25年3月期より連結財務諸表を作成しており、平成25年3月期第3四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
26年3月期第3四半期	4,435	—	1,574	—	35.5
25年3月期	4,356	—	1,572	—	36.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,574百万円 25年3月期 1,572百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	8.4	35	—	38	—	30	—	3.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	7,843,000 株	25年3月期	7,843,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	76,636 株	25年3月期	77,036 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	7,766,089 株	25年3月期3Q	7,767,679 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
4. 補足情報 .....	8
(1) 生産実績 .....	8
(2) 受注実績 .....	8
(3) 販売実績 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による積極的な経済対策や大規模な金融政策などにより、株式市況の回復や過度な円高が是正され、企業の景況感に改善が見られるなど、景気は緩やかに回復基調をたどっております。しかしながら、欧州の一部における財政問題の長期化や、中国をはじめとする新興国経済の減速などの海外景気の下振れ懸念に加えて、円高是正に伴う原油・原材料価格の上昇や電気料金の値上げ、消費税率引上げの影響など、国内景気の下押しリスクもあり、依然として先行きは不透明な状況が続くものと思われま

す。このような経済環境における製造業の国内設備投資に関しましては、老朽設備の最低限の更新に止まるなど、慎重な姿勢が見られ厳しい市況が続いております。

その結果、受注高は3,450百万円、売上高は2,978百万円と伸び悩みました。また、損益につきましては、営業損失51百万円、経常損失37百万円、四半期純損失39百万円の計上となりました。

なお、前第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行なっておりません。

以下主なセグメントの状況は、次のとおりであります。

#### (電源機器)

電源機器につきましては、自動車関連業界における海外向けの大型専用電源機器を相次いで受注することができた一方で、国内における設備投資の落ち込みは未だ回復の兆しが見られず、全般的には厳しい受注販売状況で推移いたしました。その結果、受注高は986百万円、売上高は852百万円となりました。

今後につきましては、独自に開発した省エネルギー整流方式を搭載した小型インバータ電源について、海外対応やより多くの通信方式に対応するなど、ラインナップの拡充を図ることで拡販に一層注力し、既存市場での更なるシェアの拡大を図るとともに、ますます多様化する新規市場への積極的な技術提案に努め、受注の拡大を図ってまいります。

#### (表面処理装置)

表面処理装置につきましては、海外子会社の活用による中国及び東南アジア向け設備需要の開拓、国内の更新需要に対する営業強化、修理メンテナンス案件に対する積極的な対応等により、受注・売上の拡大に努めました。その結果、受注高は1,227百万円、売上高は1,069百万円となりました。

今後につきましては、国内における新規・更新需要や、新たな生産方式を実現するためのニーズに応えた技術提案を積極的に行なうとともに、一層のグローバル化に対応するため、海外での営業力強化を図り、中国及び東南アジア地域における表面処理加工業の設備に対する需要、市場動向等をより早く、より詳細に収集することで、当社製品の競争力を強化し、受注の拡大を図る所存でございます。

#### (電気溶接機)

電気溶接機につきましては、自動車関連業界を中心に、国内における新規需要への受注獲得に意を注ぐとともに、海外進出に伴う需要に対しても積極的に営業活動を展開してまいりました。その結果、受注高は594百万円、売上高は547百万円となりました。

今後も、一層グローバル化の進む市場に対し、国内外を問わず顧客の多様なニーズにきめ細やかに対応し得る製品の開発に注力するとともに、現在開発を進めております新型溶接機用制御装置につきましても、スピードを持って取り組み、早期に市場への投入を図ることで、受注・売上の拡大に繋げるべく努めてまいります。

(環境機器)

環境機器につきましては、地球環境保全について国際的な取り組みが進展する中、新規・更新需要に対して、リサイクル・液管理装置等の環境保全に関連する機器の拡販に積極的に取り組みました。その結果、受注高は278百万円、売上高は236百万円となりました。

今後も、一層グローバル化の進む市場に対し、表面処理装置を補完しフォローする機器類を、積極的に顧客提案し、受注・売上の確保に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ0.0%減少し3,549百万円となりました。これは、仕掛品が145百万円増加したものの、現金及び預金が171百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ10.0%増加し886百万円となりました。これは、投資その他の資産が66百万円、有形・無形固定資産合計が13百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1.8%増加し4,435百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2.5%増加し2,052百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が206百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3.3%増加し807百万円となりました。これは、退職給付引当金が7百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2.7%増加し2,860百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ0.2%増加し1,574百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が38百万円増加し、利益剰余金が39百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年11月1日に公表いたしました内容に変更はありません。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,324,601	1,153,552
受取手形及び売掛金	1,513,563	1,478,421
電子記録債権	5,378	30,879
商品及び製品	72,025	56,607
仕掛品	467,648	613,495
原材料及び貯蔵品	102,419	126,058
その他	66,665	96,725
貸倒引当金	△1,200	△6,100
流動資産合計	3,551,102	3,549,639
固定資産		
有形固定資産	304,165	317,024
無形固定資産	12,440	13,130
投資その他の資産	489,284	555,957
固定資産合計	805,890	886,111
資産合計	4,356,992	4,435,751
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	820,225	1,026,368
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	3,966	5,283
その他	338,951	181,201
流動負債合計	2,003,143	2,052,854
固定負債		
退職給付引当金	531,647	539,642
役員退職慰労引当金	222,200	218,500
その他	27,952	49,810
固定負債合計	781,800	807,952
負債合計	2,784,943	2,860,807
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	738,575	699,321
自己株式	△11,612	△11,528
株主資本合計	1,455,549	1,416,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,790	152,048
為替換算調整勘定	2,709	6,516
その他の包括利益累計額合計	116,500	158,565
純資産合計	1,572,049	1,574,943
負債純資産合計	4,356,992	4,435,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,978,251
売上原価	2,357,562
売上総利益	620,688
販売費及び一般管理費	672,581
営業損失(△)	△51,893
営業外収益	
受取利息	143
受取配当金	4,941
持分法による投資利益	6,636
為替差益	5,638
その他	3,736
営業外収益合計	21,096
営業外費用	
支払利息	6,008
その他	539
営業外費用合計	6,548
経常損失(△)	△37,345
特別損失	
固定資産処分損	253
特別損失合計	253
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,598
法人税、住民税及び事業税	1,615
法人税等合計	1,615
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△39,214
四半期純損失(△)	△39,214

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△39,214
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	38,257
為替換算調整勘定	3,807
その他の包括利益合計	42,064
四半期包括利益	2,850
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,850
少数株主に係る四半期包括利益	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

## (1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同四半期比（％）
電源機器	890,821	—
表面処理装置	1,151,554	—
電気溶接機	579,061	—
環境機器	262,977	—
その他	264,028	—
合計	3,148,444	—

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同四半期比（％）	受注残高（千円）	前年同四半期比（％）
電源機器	986,660	—	425,138	—
表面処理装置	1,227,926	—	832,447	—
電気溶接機	594,555	—	176,719	—
環境機器	278,053	—	97,855	—
その他	362,932	—	115,038	—
合計	3,450,129	—	1,647,199	—

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同四半期比（％）
電源機器	852,127	—
表面処理装置	1,069,235	—
電気溶接機	547,733	—
環境機器	236,371	—
その他	272,782	—
合計	2,978,251	—

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。